

# 下水道事業特別会計

問い合わせ：留萌市都市環境部上下水道課管理係  
(TEL 0164-42-2049)

## 総括

下水道は「汚水の排除」、「浸水の防除」、「河川・海域の水質保全」の3つの役割を持ち、市民一人ひとり、そして次の世代の市民が快適な生活と良好な環境で過ごすための重要な都市施設(財産)です。留萌市の下水道整備状況は、平成28年3月末現在で下水道管延長約114.21km、下水を処理できる区域は約508ha、下水道を利用できる人は18,819人、行政区域内人口の84.4%となっており、16,482人の方に下水道を利用していただいております(水洗化率87.6%)。

建設の概要につきましては、平成22年度より管網整備を一時休止していましたが、浸水対策として実施する雨水計画に基づき平成26年度から4ヵ年計画で東部・潮静地区の雨水管布設工事を実施しています。また、浄化センターが稼動して20年以上経過することから、浄化センターの長寿命化計画を策定し、計画的に改築更新工事等を進めています。

経営状況につきましては、地籍調査完了に伴う受益者負担金の増、下水道使用料は前年同様、雨水管整備に伴う国庫補助金の増等により歳入が増加し、雨水管整備や浄化センターの長寿命化計画策定等に伴う費用が大幅に増加している中で、人件費等を含む経費の削減、公的資金借換の効果等により歳出の削減も図り、単年度収支(前年度への繰上充用金を除く)約5千5百万円の黒字となり、累積赤字額も約8千4百万円まで圧縮されています。

## 収入

(単位：千円、%)

地籍調査完了に伴い受益者負担金①が増加し、下水道使用料については、水洗化人口が若干落ちているものの使用水量は横ばいであり、前年同様の収入となっています。また、雨水管整備等に伴う国庫支出金③及び市債⑤の増加、平成20年度の使用料値上げや制度改正による一般会計からの繰入金④の増等により、8年連続の単年度黒字となり、累積赤字の圧縮に努めています。

予算科目	平成27年度				平成26年度		平成26年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 受益者負担金	4,933	5,001	0.4	68	1,292	0.1	3,709	287.1
② 下水道使用料	359,000	364,658	25.8	5,658	363,731	30.9	927	0.3
③ 国庫支出金	170,300	158,837	11.2	△ 11,463	43,390	3.7	115,447	266.1
④ 繰入金	368,890	366,269	25.9	△ 2,621	363,958	31.0	2,311	0.6
⑤ 市債	529,300	517,500	36.6	△ 11,800	402,600	34.3	114,900	28.5
⑥ 歳入欠陥補てん収入	92,343	0	0.0	△ 92,343	0	0.0	0	0.0
⑦ その他	70	142	0.1	72	50	0.0	92	184.0
合計	1,524,836	1,412,407	100.0	△ 112,429	1,175,021	100.0	237,386	20.2

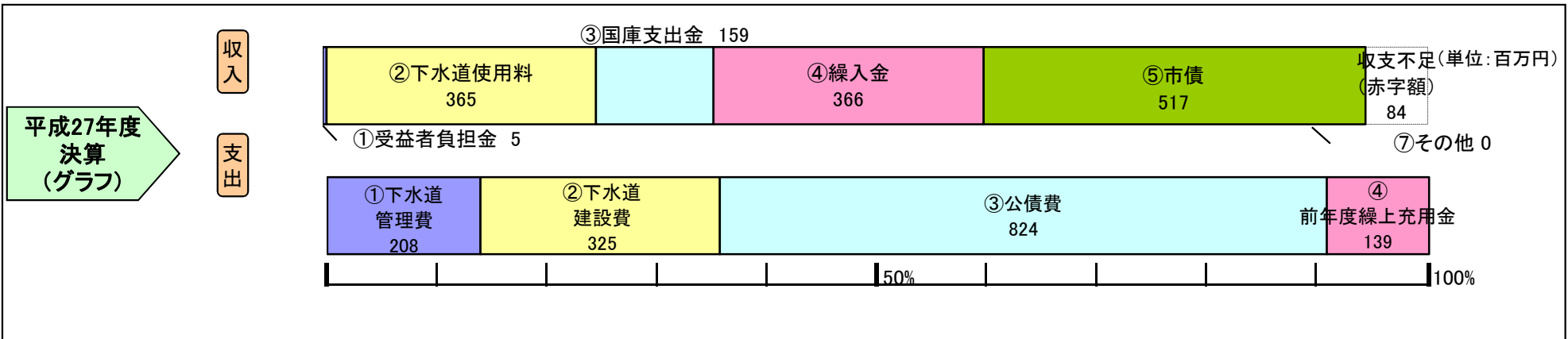
## 支出

(単位：千円、%)

汚水処理や下水道管の維持など下水道事業の運営に係る経費①は、雨水管整備や浄化センターの維持管理費増により増加となっています。下水道建設費②は、雨水管布設工事、浄化センターの第2期長寿命化計画策定及び改築更新に伴い増加しました。

また、下水道整備による市債(借金)の利子を含めた公債費(返済金)③は、金利見直しによる金利の減等により減少し、前年度の赤字補てんである前年度繰上充用金④も、黒字分が減少しています。

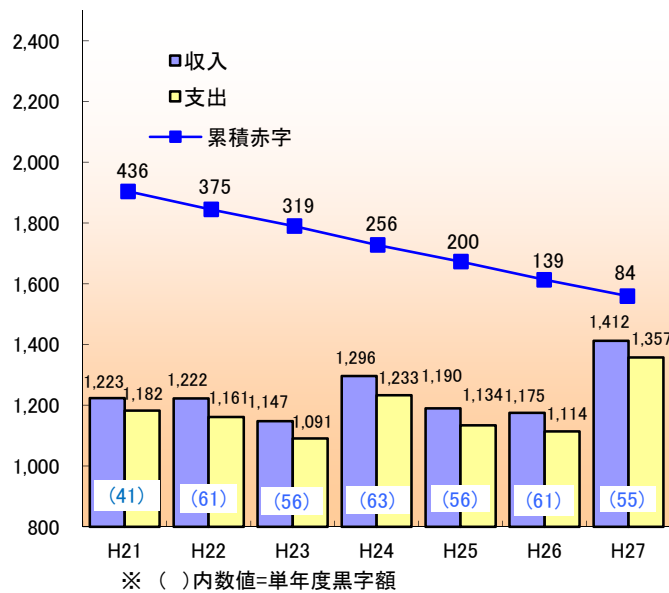
予算科目	平成27年度				平成26年度		平成26年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 下水道管理費	209,994	207,664	13.9	△ 2,330	189,585	14.4	18,079	9.5
② 下水道建設費	346,357	324,765	21.7	△ 21,592	92,889	7.1	231,876	249.6
③ 公債費	827,654	824,655	55.1	△ 2,999	832,004	63.3	△ 7,349	△ 0.9
④ 前年度繰上充用金	139,151	139,151	9.3	0	199,694	15.2	△ 60,543	△ 30.3
⑤ その他	1,680	0	0.0	△ 1,680	0	0.0	0	0.0
合計	1,524,836	1,496,235	100.0	△ 28,601	1,314,172	100.0	182,063	13.9



## 赤字の状況(平成27年度決算)

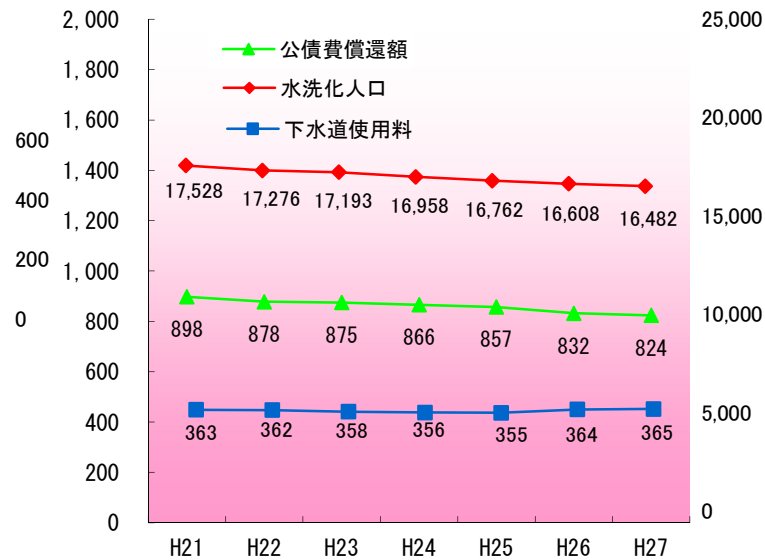
単年度収支と累積赤字の推移

(単位:百万円)



水洗化人口・公債費償還額・下水道使用料の推移

(単位:百万円、人)



下水道整備事業は、整備に長い年月と多額の費用を必要とし、その財源については、国庫補助金や市債(借金)により賅っています。

平成27年度決算では、人口減に伴い水洗化人口が減少する中、消費税の増税や人件費等を含む経費削減の効果により、単年度収支で約5,532万円の黒字となり、累積赤字額は約8,382万円に圧縮されています。

今後も赤字解消を図るため、水洗化率の向上や未収金対策、事業コストの縮減などさまざまな経営改革を行い、経営の健全化を図っていきます。

※赤字額のうち、将来的に収入でカバーされる赤字分(解消可能資金不足額)が1億3,462万円控除されるため、健全化法による赤字額は発生しません。

## 平成28年度執行状況(9月30日現在)

### 収入

収入の状況は、昨年、新たに賦課された受益者負担金①の前納者が多かったことにより件数が半減しているが、収納率は維持しています。下水道使用料②については、前年度同様の収入率を維持しています。国からの補助金③、市からの繰入金④、市債⑤等の収入については、性質上ほとんどが年度末に収納されるものです。

また、収支不足(赤字)による翌年度からの補てん金⑥については、より一層の経費削減や使用料等の収入率の向上を図り、少しでも縮小していくことを目標としています。

なお、その他⑦については、前年度建設費増に伴い多く支払った消費税の還付金等となっています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成28年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
① 受益者負担金	621	506	81.5
② 下水道使用料	350,090	149,235	42.6
③ 国庫支出金	115,000	0	0.0
④ 繰入金	374,601	0	0.0
⑤ 市債	498,000	0	0.0
⑥ 歳入欠陥補てん収入	52,538	0	0.0
⑦ その他	2,549	97	3.8
合計	1,393,399	149,838	10.8

### 支出

支出の状況は、下水道事業の運営に係る経費①については、消費税の還付に伴う公課費(消費税及び地方消費税)の減少により、前年度の当初予算より減少しています。下水道の整備に係る経費②は、下水道施設の長寿命化計画や雨水管布設工事に係るもので、工事等の進捗状況により変動します。市債(借金)の返済③は、9月及び3月払いのため予定通りの執行となっています。

また、前年度の収支不足(赤字)分への補てん金④については、予算より減少となりました。

(単位:千円、%)

予算科目	平成28年度支出状況		
	予算額	執行済額	執行率
① 下水道管理費	208,739	83,797	40.1
② 下水道建設費	258,800	31,877	12.3
③ 公債費	830,517	409,999	49.4
④ 前年度繰上充用金	92,343	83,828	90.8
⑤ その他	3,000	0	0.0
合計	1,393,399	609,501	43.7

※9月末において、収入済額に対して執行済額が上回っていますが、繰入金などの収入が年度末の収入となるためであり、不足分については会計間や一時借入金によって補てんしています。